

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	007 市民目線の広報推進事業					
予算科目	01-020104-11			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-1	11-2		係名	政策情報発信係	
戦略プラン	I-4	1	1	市民目線の効果的な広報の推進	新規・継続	新規
	I-1	3	1	市政情報等の発信	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	特になし				事業体制	一部委託
	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等					特になし	

## 事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方、つくば市記者会
目的	市が伝えたい情報をはじめ、市民が求めている「知りたい」情報が確実に届くようにする。
概要 (取組内容)	<p>広報紙、市勢ガイド等の編集・発行、市公式HPや市公式SNS等の運用、ケーブルTVやFMラジオ等の活用、定例記者会見やプレスリリース等の実施など</p> <p>※行政改革アクションプラン「85 オールつくばによるプロモーションの推進」該当</p> <p>※行政改革アクションプラン「86 マスコミへの情報提供」該当</p>

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	54,056	63,514	63,514	
	決算額	(千円)	0	0	49,095	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	49,095	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	37,636	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	4.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	2,865.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、SNS掲載
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページの問合せ先フォームの活用
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	広報紙の満足度 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	61.3	0.0	63.6	63.6
	実績	58.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民意識調査「広報紙による情報発信」の「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する人の割合を増やす。					

2	指標名	ホームページ・SNS等による情報発信の満足度 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	41.0	0.0	42.6	42.6
	実績	39.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民意識調査「ホームページ・SNS等による情報発信」の「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する人の割合を増やす。					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	転入者の増加を受け、適宜、広報紙の印刷部数を増加させて対応した。また、広報紙の未配世帯があることから、現地調査を行うとともに、委託業者と解決に向けて打合せを重ねた。 災害時HPについて、市民にわかりやすいページへ改修した。
成果	広報つくばにおいては、毎月旬な話題を表紙に据え、市民が必要としている情報を発信することで、広報紙の満足度の向上を図った。特に、新型コロナウイルス感染症の蔓延期においては、臨時号を発行するなど、月1回にとらわれず、情報発信を行うことで、市民目線の広報活動を展開した。また、HPにおいては、災害時モードの機能面の改修を行い、いつ起きるかわからない災害への準備を整えることができた。
課題	業務 広報紙、HP等、様々な手段で情報発信を行っているが、必要な情報が市内隅々に行き届いていないという声もある。 組織、予算等 適切な情報発信媒体を取捨選択し、新たな予算を確保する。
改善目標	市政情報の速報性を高めるとともに、深く市政を知っていただくため、新たな手段の一つとして市政情報かわら版を発行する。

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充
理由	市民から、もっと市政情報を詳しく知りたいという声があることから、更に情報発信を強化していく必要がある。

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	005 職員向けの広報カススキルアップ等事業					
予算科目	01-020104-12			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-2			係名	政策情報発信係	
戦略プラン	I-4	1	2	職員の広報力の向上	新規・継続	新規
	I-4	1	3	市のブランドイメージの統一	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	特になし				事業体制	職員のみ
	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等					特になし	

## 事業の概要

対象	職員
目的	職員一人ひとりが市民の求めている「知りたい」情報の把握や対象に合わせた広報媒体の選択を行い、「伝わる」広報内容の作成等の広報力を向上させるとともに、市のブランドイメージの向上を図る。
概要 (取組内容)	全職員向けのプロモーションセミナー、広報担当者向け講習会等の実施、チラシデザイン等のチェック作業の実施など ※行政改革アクションプラン「88 プロモーションセミナーの開催」該当

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	111	111	111	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	3,474	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	30.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	職員向け広報力向上セミナーの受講者数（延べ人数）					（人）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	
	実績	133.0	118.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要	受講者数 年間150人(2020年度～2024年度 合計750人)（個別施策 I-4-①市民目線の効果的な広報の推進 指標 3）						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<p>広報力の向上として、各課のプレスリリース実施に当たり、毎回構成等をアドバイスするとともに、職員向けの講習会等を実施した。</p> <p>ブランドイメージの統一を図るために、各課のデザインチェックを実施した。</p>
成果	<p>職員向けの広報力向上セミナー（プロモーションセミナー）等を3回実施し、プレスリリースやチラシデザインの要点等をアドバイスした。</p> <p>年間約280件のチラシデザインチェックを実施し、ブランドイメージの統一を図った。</p>
課題	<p>業務</p> <p>更なるブランドイメージの統一が必要である。</p> <p>組織、予算等</p> <p>各課が、個別にチラシ等を制作していることから、市全体としての統一感を出すことが困難な状況にある。そのため、係を再編し、ブランドイメージの統一が取れたクオリティの高い情報発信を行う。</p>
改善目標	<p>チラシやポスターなどの制作物について、情報が伝わるデザインの事例集を作成し、庁内に共有する。各部署がチラシ等を作成する際に事例集を参照することで、職員一人ひとりの広報力を高めるとともに、市のブランドイメージの統一を図る。</p>

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	004 シティプロモーション・関係人口創出拡大事業					
予算科目	01-020104-12			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-2	84		係名	移住・定住促進係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	新規
	I-4	2	2	関係人口の創出	事業分類	自治事務（任意）
	I-4	2	3	ふるさと納税のPR強化	事業体制	一部委託
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよ

## 事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方
目的	市内外に対してつくばの魅力を発信し、つくばに愛着を持つ人を増やす。
概要 (取組内容)	市の先駆的な取組や、地域で行っているイベント等のPRを実施。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	8,656	8,656	8,656	
	決算額	(千円)	0	0	7,585	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	7,585	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	7,379	7,157	7,157	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	235.50	145.00	145.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	市公式SNSへの「市の先駆的な取組や地域のイベント等」の投稿数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0
	実績	58.0	121.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	当該年度における市公式SNSへの投稿数。H30年度からR1年度における市公式SNSへの投稿数の増加率1%を踏まえ、毎年約3%増を目標とする。(R1年度591件÷H30年度587件=1.0068≒1%)						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	SNS投稿において、動画編集技術やネットリテラシーを高めるため、課員へのOJTを実施した。	
成果	動画編集のOJTを重ねたことで、動画の投稿内容が向上するとともに、投稿数が増加し、より効果的な情報発信につなげることができた。	
課題	業務	撮影・編集した動画の投稿に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの動画配信需要が高まっていることから、今後はこれらの知識や技術の向上が必要となってくる。
	組織、予算等	動画配信の知識や技術を持つ職員の養成が急務となっている。
改善目標	引き続き、動画投稿及びオンラインでの動画配信を円滑に実施する知識や技術等を習得するため、課員へのOJTを実施し、効果的な情報発信につなげる。また、次年度採用する広報推進監の専門的な知見と技術を活かしたPR動画を積極的に作成し、シティプロモーションの一層の充実を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	006 つくば総合インフォメーションセンター交流サロン管理運営事業					
予算科目	01-020104-13			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約				係名	政策情報発信係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	16平和と公正をすべての人に

## 事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方
目的	市政情報や知的好奇心を満たす様々なイベント等、様々な情報の発信を通して、市のイメージアップを図るとともに、センター地区の賑わい創出に寄与する。
概要 (取組内容)	チラシやパンフレット、書籍等の配架、PR動画の放映、打合せや待合せ、休憩等で気軽に利用できる場の提供、大学や研究機関と連携したセミナーやイベントの開催など ※行政改革アクションプラン「89 つくば総合インフォメーションセンター交流サロンの運営」該当

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	22,764	22,764	22,764	
	決算額	(千円)	21,076	22,272	21,653	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11,258	12,454	11,835	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	9,818	9,818	9,818	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,462	7,659	6,870	6,901	6,901	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	163.00	80.00	28.50	41.00	41.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	アンケート
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	市公式SNSへの「交流サロンでのイベント・取組等」の投稿数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
	実績	34.0	21.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	当該年度における交流サロン関係の投稿数。直近3年間における来館者数の伸び率である3%を増加目標とする。(R1年度40,265人÷H29年度39,106人=1.02963≒3%)					

2	指標名	当該年度における総来館者数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	41,000.0	41,000.0	41,000.0	41,000.0	41,000.0	41,000.0
	実績	40,265.0	10,790.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	当該年度における総来館者数（R1実績では、年間200回程度のイベントを行い、イベントが無い日も座席が満席になるなど、利用率が非常に高いため、維持目標とする）					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	情報発信スペースをより一層の利用促進に向けた取り組みとして、オンラインイベントの配信会場としての活用を行った。またイベントや展示等を行う際は、関係各課と連携してSNSで発信（事前・事後）した。
成果	新型コロナウイルスによる利用制限がある中でも、大学や研究機関等と連携し、多くの催事や展示を行った。またオンラインイベントについても積極的に行い、学生や親子を対象とした体験型・参加型のイベントの配信を行うなど、市のイメージアップを図ることができた。またJAXAの協力を得て野口宇宙飛行士が民間宇宙船で活躍する様子などをパネルや動画で展示するなど、気運醸成を図ることができた。
課題	<p>業務</p> <p>新型コロナウイルスにより、これまでのような交流・イベント等の開催が難しくなるなど、情報発信と交流の場として交流サロンに求められる価値が変わってきている。</p> <p>組織、予算等</p> <p>開館5年を経過し、デジタルサイネージの老朽化、筑波大学サテライトオフィスの撤退による運営体制への影響など、開館時には無かった課題が表面化している。</p>
改善目標	オンラインで行えるイベントについては、配信会場として活用するなど、これまでになかった新しい交流サロンの活用を検討していく。また、筑波大学サテライトオフィス撤退による利用者への影響を最小限に抑えるため、筑波大学との連携を維持し、筑波大学情報等をこれまで通り提供できるよう調整を図る。

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	013 移住・定住促進事業					
予算科目	01-020104-80			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	84			係名	移住・定住促進係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	継続
	I-4	2	4	つくば市への移住促進	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	特になし				事業体制	一部委託
	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	16平和と公正をすべての人に
	特になし					

## 事業の概要

対象	来訪者、市に縁のある方
目的	中心地域では人口が増加傾向であるが、周辺地域では減少傾向であるため、周辺地域に特化した取組を実施し、人の流れを作り出す。
概要 (取組内容)	庁内関係各課等と連携し、地域活性化協議会の取組等、地域に密着した活動を市公式HPや公式SNSを用いて発信する。 移住希望者と地域のマッチングを実施する。

## コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	9,716	9,716	9,716	
	決算額	(千円) 10,500	0	3,700	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 5,257	0	3,700	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 5,243	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 3,716	10,531	7,115	7,856	7,856	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.50	1.40	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間) 75.00	420.00	128.00	430.00	430.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	「地域活性化協議会等が行うイベントや取組等」投稿数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	56.0	58.0	60.0	62.0	64.0
	実績	54.0	72.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	当該年度における市公式SNSへの投稿数。H30年度からR1年度における市公式SNSへの投稿数の増加率1%を踏まえ、毎年約3%増を目標とする。(R1年度591件÷H30年度587件=1.0068≒1%)						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	周辺地域への人の流れを作るため、興味・関心を持たせ、周辺地域での起業醸成を促すための情報を集約する。 地域と移住希望者等が交流する機会を設けるため、地域と関係づくりを行った。
成果	冊子「つくばスタイルCRAFT」を制作し、地域で事業や地域活動を行っている方を紹介することで、移住定住希望者だけでなく、起業を検討している方へ効果的なプロモーションを行うことが出来た。 地域イベント等に参加して地域との関係づくりを行うことで、移住希望者と地域とのマッチングを行うための土台作りを行うことが出来た。
課題	業務 引き続き地域との関係づくりを継続し、関係をさらに広げていく必要がある。 移住希望者と地域とのマッチングをどのように行っていくかの検討が必要である。
	組織、予算等 移住施策を行う上で、関係各課のみならず地域との連携が欠かせないが、担当人員が限られているため、地域と関わる時間を十分にとることができない。
改善目標	それぞれの周辺地域のキーマンとなる方を移住コーディネーターとして活用し、移住・起業を検討している方のサポート体制を築くことで、移住希望者の獲得に繋げていく。また限られた人員で最大限の効果をを得るために、関係各所との密接に連絡調整を行い、業務を計画的に遂行する。

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—